

のびのび学習だより

3月号

令和2年(2020年)

3月24日

春休みは、新学年のスタート！

今年度末は、臨時休校からそのまま春休みに入ることとなり、大変ご心配をおかけしております。

新年度の始めには、未履修のものの学習をする予定です。今年度の教科書など残しておいてください。

なお、休校中、学校から課題は出しておりますが自主的な学習が中心となります。この5週間余りを、どのように過ごしたかで、新学年のスタートも大きく違ってきます。体調管理とともに是非とも、漢字ドリルや計算ドリル、教科書などを活用して、新学年への頭と心の準備をする休みにしてください。

さて、3学期の通知表とともに、標準学力調査の一人一人の結果を同封いたします。2月に国語・算数の2教科について実施しました。各学年で11月までに学習した内容から出題されています。本校では、この検査を6年前から毎年実施して、学習指導に活用しています。

個人票を見ていただき、お子さんの強み、弱みを確認してください。そして、『学習へのアドバイス』が示されていますので、それを参考に、新学年に向けて、しっかりと復習をするように、声かけをよろしくお願いします

個人票の見方

児童・保護者の方へ

教科別正答率(%)

教科	教科総合			基礎		活用			※グラフはあなたの正答率 ◆は目標値
	あなた	目標値	校内平均	あなた	目標値	あなた	目標値		
国語	83.9	68.1	65.5	87.5	70.0	71.4	61.4		
社会	74.2	62.5	57.1	82.1	65.4	30.0	45.0		
算数	91.7	64.2	60.3	96.6	66.0	71.4	56.4		
理科	41.2	55.9	47.6	42.9	57.1	33.3	50.0		

※目標値とは、学習目標と一致した程度で、到達して欲しいラインを正答率で表したものです。

1

児童のみの方へ

この調査は、ふだんの授業で学習したことが、どれくらい身についているかを確かめるための調査です。各教科の結果をよく見て、できなかったところは、もう一度教科書を読んでよく復習しておきましょう。

左の表の「基礎」は、各教科で必ず身につけてほしい大事なことから出題されています。「活用」は、「基礎」の力をを使って、日常生活のさまざまな問題をかい決する問題です。

小学校5年国語		
問題の内容	正答率(%)	評価
表裏の内よみを読み取る	75.0	75.0 ○
漢字を辨む	100.0	77.5 ◎
漢字を書く	100.0	56.3 ◎
言葉の学習	50.0	61.3 ▲
物語の内よみを読み取る	75.0	67.5 ◎
説明文の内よみを読み取る	100.0	78.3 ◎
パレットと話し合いを読み取る	66.7	58.7 ◎
作文	100.0	71.0 ◎
総合	83.9	68.1 ◎

○→一次よりよくできた ○→よくできた ▲→もう少しがんばりましょう

小学校5年社会		
問題の内容	正答率(%)	評価
安全な暮らし—火事	66.7	65.0 ○
安全な暮らし—交通事故や事件	80.0	59.0 ◎
くらしを支える水	33.3	58.3 ▲
ごみのもつと利用	66.7	66.7 ○
地いきのあそびにつくした人々	75.0	59.2 ◎
地図帳の使い方	90.0	84.0 ◎
風の様子	75.0	65.0 ◎
総合	74.2	62.5 ◎

○→一次よりよくできた ○→よくできた ▲→もう少しがんばりましょう

★国語は大変よくできました。得意な教科なので、さらに力を伸ばしましょう。下のアドバイスを読んで、学習に役立てましょう。

◆漢字を書く問題は、得意なようですね。新しく習った漢字は、字形や国語、漢字のつづきなどをおぼえて覚えておくと、いっそう書ける力があがります。

◆言葉の学習の問題は、もう少しがんばりましょう。主語、述語や文のつづきなどをおぼえて覚えておくと、いっそう書ける力があがります。

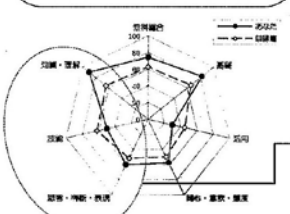
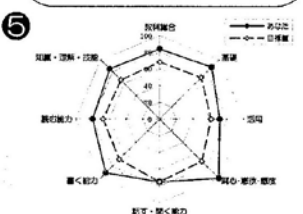
◆作文の問題は、よく書けましたね。自分の伝えたいことが読者によく伝わるように、文章の組み立てを考えたうえでしっかりと書くことができます。

★社会は大変よくできました。得意な教科なので、さらに力を伸ばしましょう。下のアドバイスを読んで、学習に役立てましょう。

◆安全な暮らし—交通事故や事件の問題はがんばりました。けいさつの人たちの仕事や、安全を守るためのくふうについて、よく知ることができます。

◆くらしを支える水の問題はむずかしかったですか。水はくらしを支える大切な資源です。水について、改めて考えてみましょう。力を付けていきましょう。

◆地図帳の使い方の問題はできています。地図帳のさくいで地名を調べたり、地図帳のいろいろな使い方について目を通したりしてみましょう。



- この学力調査の目的を説明しています。
- ②の表に出てくる「基礎」と「活用」についても、ここで解説しています。
- 教科ごとに「総合」「基礎」「活用」におけるあなたの結果と目標値を表しています。「目標値」とは、到達してほしい目標ラインとなる正答率を、教科ごとや学習内容のまとまりごとに表したものです。棒グラフは、あなたの「教科総合」の正答率を表しています。◆で示された目標値と比べることで、よくできた教科、あまりできなかった教科がわかります。
- ③「問題の方向」ごとに、あなたの正答率と目標値を表してあります。「評価」の欄は、目標値を基準として以下の3段階で表しています。
 - ◎…目標値を 上回っている
 - …目標値と 同程度
 - ▲…目標値を 下回っている
 どういう問題が自分の弱点なのか確かめましょう。
- ④ 復習や今後の学習に役立ててもらうために、総合評価と学習のアドバイスを示しています。
 - ★で始まる最初の文章 …… 総合評価です。教科全体の出来がよいについて、あなたへのメッセージを述べています。
 - ◆で始まる文章(原則3つ) …… 問題の内容ごとの学習のアドバイスです。よくできた問題については、あなたのがんばりをたたえ、重要事項を再度確認しています。詳細のある問題については、今後の学習に役立ててもらうため、復習のポイントをあげています。
- ⑤ 基礎/活用や 教科の観点別正答率を、レーダーチャートで視覚的に示しています。②の表にある「総合」「基礎」「活用」の正答率に加え、文部科学省が設定している各教科の「知識・技能、思考・判断・表現」についての正答率を、レーダーチャートで一つのグラフにまとめています。

あなたの値(—◆—)が、目標値(—○—)より外側にあれば、その項目が目標値を上回っていて、よくできたことを表します。また、—◆— と —○— の間が離れていればいるほど、あなたの値と目標値との開きが大きいことを表します。

(例)「知識・技能」と「思考・判断・表現」は、—◆—の外側にあるため、よくできたことがわかります。「法則」は、—◆—が —○— の内側にあるため、目標に届かなかったことがわかります。また、よくできた「知識・技能」と「思考・判断・表現」の出来がよいと比べると、「知識・技能」の方が、—◆—が —○— から より大きく外側に離れているため、よりよい結果だったことがわかります。